

市政クラブ 活動報告

Vol.5 平成21年3月

発行:市政クラブ



高野 たけし

無所属36歳・2期目

逗子市議会議員・副議長

民主党第4区総支部幹事長代理
中央大学大学院修士課程修了



長島 有里

無所属30歳・1期目

逗子市議会議員

民主党第4区総支部常任幹事
立教大学法学部卒

賛否が分かれた重要な 予算への判断理由とは

平成21年度予算案が否決、修正案が可否同数で可決されました(議長可決)。

私たち市政クラブは、すべての予算に賛成しました。昨年補正予算で提案された第一運動公園整備事業は反対しましたが、それには3つの理由がありました。

- 事業計画の用途が明確でなかったこと。
- 財政負担が心配であったこと。
- 市民参加のプロセスが不十分であったこと。

しかし、今回、賛成した理由とは…

児童館的機能を有する体験学習施設、公園内バリアフリー化、防災機能の充実など、その方向性は良とすること。

国の補助金などを活用するため、その後の市の負担となり続けるランニングコストの心配が払拭されつつあること。

児童館的機能検討子ども委員会、第一運動公園整備検討準備委員会など、市民参加のプロセスを採用してきたこと。

大前提として…この事業の進め方は
平成21年度 基本計画・基本設計の策定予算
平成22年度 実施設計予算
平成23年度 事業整備(建設)費予算

正直、昨年度の予算で私たちの会派が反対した理由がすべてクリアになったというわけではありません。

特に、反対理由であった について、事業計画の用途が完全に明らかになったわけではなりませんが、市民参加のプロセスで集めてきた声を今後、基本構想などにまとめます。

今後、市民の声が適切に反映されているか、平成22年度の予算審議の中でも再度、賛否の態度を示す機会があります。

第一運動公園整備事業とは？

第一運動公園のプールの改修を中心に、子育てや青少年の活動の場としての機能を併せ持った体験学習施設の設置、公園内バリアフリー化、災害時の拠点となる防災機能の充実など。事業規模は10億円程度だが、半分を国の補助金で賄う。

スクラップ&ビルドは成立するか

私たちの会派だけでなく、この第一運動公園整備事業の予算に賛成した議員も、反対した議員も、また、平井市長を初め行政当局も、一番の懸念は、この事業が逗子市の財政負担にならずに、いかに新たな行政サービスを提供できるのかという点に尽きます。議会としては、平井市長が唱える「スクラップ&ビルド」(事業や予算の使い方を見直し、新たなサービスに税金を使うこと)がきちんと成立するのかどうかをしっかりとチェックしなくてはなりません。

これまで、総合的病院の開設目標は「平成22年度」、第一運動公園の再整備の完成は「平成24年度」と、ビルドの方は時期が明確になっていましたが、スクラップをしていく時期が不明確でした。

私たちの心配は、スクラップがあいまいにされたまま、「ビルド&ビルド」になって、財政負担が残るだけという事態です。

このため、以下の点を代表質問で平井市長に質しました。
(今回は高野議員は副議長であるため、長島議員が質問)

Q長島議員:ランニングコストはどれくらいになるのか?

A平井市長:他市の同規模児童館では5000万から6000万円程度

Q長島議員:スクラップの具体的例や時期は?

A平井市長:児童館機能を池子で担えれば、青少年会館は平成24年度に照準にしている

Q長島議員:スクラップ全体の時期が不明確では、判断しがたい

A平井市長:(施設の)統廃合の計画を示すことを約束する

< 総括 >

「検討する」という言葉を使うことが多く、これまでいつまでに何をするかあまり示さない、慎重派の平井市長であったが、スクラップの時期の一端を示すと共に、事業や施設再配置の見直しの時期を平成21年度中に示すと約束したことは評価したい。

いわゆる「玉虫色」の、まだ明確になっていないことが少なからずあったが、市民参加で得た声をさらに検討を深める道を与えることなく、今の段階で閉ざすことは少し乱暴といえよう。

このため、平成21年予算議会で最も意見の分かれた第一運動公園整備事業の予算に私たち市政クラブは賛成したものである。

私たちは今後、民主党議員として活動していきます。

すでに、昨年民主党に入りましたが、3月9日に民主党の神奈川県第4区総支部(逗子市・鎌倉市・葉山町・横浜市・栄区)の設立総大会において、高野たけし逗子市議会議員が第4区総支部の幹事長代理に、長島有里逗子市議会議員が常任幹事に就任いたしました。



また、小林和茂逗子市議会議員も、第4区総支部の副幹事長に就任。さらに、近藤大輔神奈川県議会議員(逗子市・葉山町選出)も、第4区総支部の副総支部長に就任。政権交代を実現させるために、神奈川県第4区では長島一由総支部長のもと民主党の議席を確実のものとするために、一致団結していくことを約束しました。

小林和茂議員はすでに会派「民主党逗子市議団」を離れ、今は、無党派としながらも、小林、高野、長島の3名で連携を深めていくことになりました。

高野議員は、これまで例えば、逗子海岸の深夜の花火の規制のルール化に取り組んできましたが、海ひとつとっても、海面は「国」、海岸は「県」、海水浴場の開設期間の管理は「市」と、現場で問題を解決していくためには、県、国と連携をしていくことで、活動に広がりが出ていくことを期待し、民主党に活路を見出していきたいとしています。

長島議員は、夫である長島一由前・逗子市長が昨年12月24日に、民主党本部で、衆議院神奈川4区の民主党公認候補予定者に決定されました。これを受け、政権交代を実現させることによって、「生活応援ママ」の目線を、自分自身が逗子市政で活かすと共に、長島一由氏を通じて、国政に活かすということを企図し、民主党を標榜して、今後は活動をしていくことになりました。

なお、民主党に所属しても、これまで通り、企業献金はもちろん、個人の献金も含めて一切いただきたくない、クリーン＆オープンな姿勢を貫いていきます。

これからもご支援、ご協力いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

< 市政クラブ代表質問より > (要旨抜粋)

Q.子育て支援策について

雇用不安が続く中、家計を助けようと働く母親が増えている。本市においても保育所への入所希望者数は増加しており、学童の需要はこれからさらに増えてくることが予想される。池子、沼間、小坪の3学童はとくに老朽化が激しく、防災上からも早急な改善が望まれる。学童の環境整備はいつ取り組んでもらえるのか？

A.平井市長

老朽化も含めてそれぞれの学童保育が適切かつ十分な環境で今過ごしていただいているとは思っていない。例えば、波の子学童では小坪公民館横の駐車場の活用も視野に入れ可能性を模索していきたい。

Q.教育改革について

来年度新規事業として、学校支援地域本部事業がスタートする。多様な人材に溢れる逗子というまちにとって、多くの市民の方に様々な機会を通じ学校に入ってもらい力を貸してもらおうことは、逗子市の公教育を考える上で欠かせない取り組みだと考える。新年度はどのような取り組みを行うのか？

A.村上教育長

学校支援地域本部とは、各学校の教育的ニーズに応じて地域ボランティアに協力依頼していくものである。平成21年度は、市内8校の立ち上げを考えている。学習支援や部活動の指導、補助、あるいは小学校英語の学習支援などを考えている。

(他にも多岐にわたり質問しておりますが、紙面の都合上軽愛させていただきます。詳しくは逗子市議会HPからインターネット中継でもご覧いただけます。) アドレスはこちら <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/gikai/index.html>



一昨年設立された逗子小学校の学童は、施設も新しく現在定員84名で定員満杯の盛況ぶり。

ご意見お待ちしております。

Eメールアドレスはこちら

高野毅

takano_zushi@yahoo.co.jp

長島有里

yuri_nagashima@yahoo.co.jp



逗子市役所の一階に授乳室が新しく設置されました。以前から市役所内での授乳室を要望していたママとしても喜んでいきます。育休明けの議会では、福祉部の相談室のような部屋で授乳しながら仕事をすることを思い出しました。鎌倉市の授乳室は育児情報誌などが充実しており、授乳しながら、市内の育児情報を収集できます。逗子でもファミサポの案内や子連れで参加できるイベントのチラシなどを置いて充実した授乳室になるよう要望していきたいと思えます。

長島有里

この季節、花粉にお悩みの方も多いことと思います。私も、4年前に初めて花粉症だと自覚するほど苦しめられました。今年は飛散量も多いのか、特にくしゃみに悩まされています。今年度は黄砂の飛散量も例年より多いそうです。黄砂を吸い込んでしまうと、花粉症などのアレルギーを悪化させる可能性があるとの研究結果も出ており、花粉用より目の細かい風邪用のマスクを着用すると防護できるらしいです。

例年より目のかゆみやくしゃみにお悩みの方は、試してみてくださいいかがですか。

高野毅

編集後記

